



クイック スタート ガイド



Cisco Small Business

300 シリーズ マネージド スイッチ

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

はじめに

この度は、Cisco Small Business ネットワーク通信デバイス、Cisco 300 シリーズ マネージド スイッチをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このデバイスは、詳細な設定が不要で標準ブリッジとしてすぐにご使用いただけます。デフォルト設定では、電源投入後、接続しているデバイス間でパケットの転送が行われます。

パッケージの内容物

- Cisco マネージド スイッチ (SF 300-08、SF 302-08、SF 302-08MP、SF 302-08P、SG 300-10、SG 300-10MP、SG 300-10P、SG 300-20、SF 300-24、SF 300-24P、SG 300-28、SG 300-28P、SF 300-48、SF 300-48P、SG 300-52 モデル)
- ラックマウント キット
- 壁面マウント キット
- 電源コード (8 ポート デバイスには電源アダプタが付属)
- クイック スタート ガイド (本書)
- 製品 CD
- シリアル ケーブル
- ゴム足

このマニュアルでは、マネージド スイッチ各部のレイアウトを紹介し、お客様のネットワークにこのデバイスを配備する方法について説明します。詳細については、www.cisco.com/jp/go/sb を参照してください。

1

シスコ スイッチの設置

物理的にスイッチを設置するには、次の 3 つの方法があります。

- 平らな面に設置する。
- 壁面に取り付ける (8 ポート デバイスのみ)。
- 標準的なラック (高さ 1U を占有します) に取り付ける。

次のような条件が当てはまる場所には設置しないでください。

高温：周囲温度は 40°C (104°F) 以下でなければなりません。

通気妨害：過熱防止のため、両方の側面パネルが塞がれないようにしてください。

機械的過負荷：デバイスが滑ったり移動したりしないよう、水平で安定した状態でしっかりと固定させてください。

回路の過負荷：電源コンセントにデバイスを追加接続することで、その回路に過負荷をかけることのないようにしてください。

ラックマウント設置

標準ラックにスイッチを取り付けるには、付属の金具を使用してスイッチの両側面にラックマウント ブラケットを取り付け、ブラケットをしっかりと固定します。



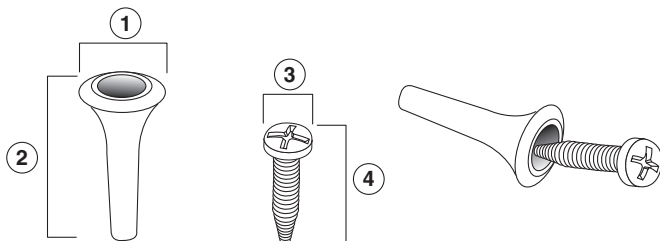
安定性を確保するために、最も重いデバイスから順に下から上へとラックに載せていきます。重いデバイスをラックの一番上に載せると、不安定になり、転倒する可能性があります。

壁面への取り付け

本スイッチの 8 ポート モデルの場合は、壁面への取り付けが可能です。

(注) スイッチは、ポートが上向きまたは下向きになるように取り付ける必要があります。ポートが側面に来るような向きにスイッチを取り付けないでください。

本スイッチには、壁面マウント キットが同梱されています。マウント キットの寸法は次の通りです。



1 8 mm
(0.4 インチ)

2 22.2 mm
(0.9 インチ)

3 6.8 mm
(0.3 インチ)

4 17.6 mm
(0.7 インチ)

196243

壁面に 95 mm (3.7 インチ) 間隔で 2 つのパイロット穴を開けて、付属のアンカーとネジを壁に取り付けます。マネージド スイッチをスライドさせてネジにはめ込み、スイッチを壁面に取り付けます。

スイッチの四方には 130 mm (5 インチ) 以上のスペースを空ける必要があります。



不安定な取り付けを行うと、デバイスの損傷やけがを招く恐れがあります。シスコは、壁面への不安定な取り付けによって生じた損傷について、いかなる責任も負いません。

2

ネットワーク デバイスの接続

マネージド スイッチをネットワークに接続するには、次の手順に従います。

ステップ 1 イーサネット ケーブルをコンピュータ、プリンタ、ネットワーク ストレージ、または他のネットワーク デバイスのイーサネット ポートに接続します。

ステップ 2 ネットワーク イーサネット ケーブルのもう一端を、マネージド スイッチのイーサネット ポート番号に接続します。

接続されたデバイスがアクティブ状態の場合、ポートの LED が点灯します。各スイッチのポートおよび LED の詳細については、「**Cisco Small Business マネージド スイッチの機能**」(P.9) を参照してください。

ステップ 3 マネージド スイッチに接続する各デバイスで、**ステップ 1** および **ステップ 2** を繰り返します。

(注) ギガビット接続にはカテゴリ 5 以上のケーブルを使用することを推奨します。ネットワーク デバイスを接続する際は、最大ケーブル配線距離 100 m (328 フィート) を超えないようにしてください。デバイスや LAN が接続されてから、動作可能になるまでに最大 1 分かかることがあります。これは予想される通常の動作です。

Power over Ethernet (PoE) の考慮事項

スイッチが PoE モデルの場合、次の点を考慮してください。

本スイッチは、Power Sourcing Equipment (PSE; 給電側機器) デバイスとして、各 PoE ポートで最大 15.4 ワットの電力を Powered Device (PD; 受電デバイス) に供給できます。

3

Cisco Small Business マネージド スイッチの設定

作業を開始する前に

Microsoft Internet Explorer (バージョン 6 以上) または Firefox (バージョン 2.0 以上) がインストールされたコンピュータを利用できることを確認してください。

本スイッチにアクセスして管理するには、Web ベースのインターフェイスを使用して IP ネットワーク経由で行う方法と、コンソール ポートを使用してメニュー CLI で行う方法の 2 通りがあります。コンソール ポートを使用するには、ユーザに高度な知識が必要になります。

本スイッチは、Cisco FindIT Network Discovery Utility を含む、Cisco Small Business ネットワークツールおよびサービスに対応しています。Cisco FindIT Network Discovery Utility は、ご使用の PC と同じローカル ネットワーク セグメント内にあるサポート対象の Cisco Small Business デバイスをすべて自動的に検出します。各デバイスのスナップショットを表示することや、製品のコンフィギュレーション ユーティリティを起動して設定値を表示および指定することができます。詳細については、www.cisco.com/go/findit を参照してください。

Web ベースのインターフェイスを使用したスイッチへのアクセスと管理

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスするには、スイッチが使用している IP アドレス情報が必要になります。スイッチのデフォルト設定では、DHCP サーバから IP アドレスを取得するまで工場出荷時設定の IP アドレス **192.168.1.254** を使用するようになっています。

スイッチが工場出荷時設定の IP アドレスを使用している場合、電源 LED は連続的に点滅します。スイッチが DHCP から割り当てられた IP アドレスや管理者が設定したスタティック IP アドレスを使用している場合は、電源 LED は点灯した状態になります。

(注) DHCP サーバや手動によってマネージド スイッチの IP アドレスが変更された場合、マネージド スイッチへの接続は切断されます。**Web ベースのインターフェイス**を使用するには、その新しい IP アドレスを入力する必要があります。

Web ベースのインターフェイスの使用

マネージド スイッチを設定するには、次の手順に従います。

ステップ 1 コンピュータとスイッチの電源をオンにします。

ステップ 2 コンピュータをスイッチに接続します。コンピュータをスイッチと同じ IP サブネットに接続するには、イーサネット ケーブルでコンピュータとスイッチを直接接続するか、他のスイッチを介して目的のスイッチに辿ることが可能な同一の LAN にコンピュータを接続します。また、複数の IP ルータを経由して、別の IP サブネットのスイッチにコンピュータを接続することもできます。

ステップ 3 コンピュータの IP 構成を設定します。

- a. スイッチがデフォルトのスタティック IP アドレス **192.168.1.254** を使用している場合、未使用の **192.168.1.1** ~ **192.168.1.253** の範囲内の IP アドレスを選択する必要があります。
- b. IP アドレスが DHCP によって割り当てられる場合、DHCP サーバが実行中で、スイッチとコンピュータから接続可能であることを確認します。各デバイスが DHCP サーバから割り当てられた新しい IP アドレスを検出するために、デバイスを一旦切断して再接続することが必要な場合があります。

(注) お使いのコンピュータで IP アドレスを変更する方法は、そのアーキテクチャやオペレーティング システムの種類によって異なります。お使いのコンピュータのヘルプとサポート機能を使用して「IP アドレスの設定」について検索してください。

ステップ 4 Web ブラウザを開きます。デバイスに接続したときに、Active-X プラグインをインストールするよう求められた場合は、指示に従ってプラグインのインストールを許可します。

ステップ 5 アドレスバーにスイッチの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。たとえば、**http://192.168.1.254** のように指定します。

マネージド スイッチのログイン ページが表示されます。

ステップ 6 次のデフォルトのログイン情報を入力します。

ユーザ名は **cisco** です。

デフォルトのパスワードは **cisco** です（パスワードでは大文字と小文字が区別されます）。

ステップ 7 デフォルトのユーザ名とパスワードで初めてログインする場合、[パスワードの変更] ページが表示されます。新しい管理者パスワードを入力し、[適用] をクリックします。



Web ベースのインターフェイスを終了する前に、[保存] アイコンをクリックして設定の変更内容を必ず保存してください。設定を保存する前に終了した場合、変更内容は失われます。

[はじめに] ウィンドウが表示されます。これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、『Cisco Small Business マネージド スイッチ アドミニストレーションガイド』を参照してください。

コンソール ポートの使用

マネージド スイッチを設定するには、次の手順に従います。

ステップ 1 付属のコンソール ポート ケーブルを使用して、コンピュータをスイッチのコンソール ポートに接続します。

ステップ 2 コンピュータのハイパーターミナルなどのコンソール ポート ユーティリティを実行します。

ステップ 3 次のパラメータを使用してユーティリティを設定します。

- 115200 ビット/秒
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット
- フロー制御なし

ステップ 4 ユーザ名とパスワードを入力します。ユーザ名とパスワードはどちらも英数字で大文字と小文字が区別されます。デフォルトのユーザ名は **cisco**、デフォルトのパスワードは **cisco** です。

ステップ 5 デフォルトのユーザ名とパスワードで初めてログインする場合、[Change User Password] ページが表示されます。[Edit] を選択し、新しい管理者パスワードを入力して [Execute] を選択します。



終了する前に、設定の変更内容が保存されたことを確認してください。

これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、『Cisco Small Business マネージド スイッチ アドミニストレーションガイド』を参照してください。

次の手順

- ネットワークで DHCP を使用していない場合、マネージドスイッチの接続の種類をスタティックに設定し、現在のネットワークトポロジに一致するようにスタティック IP アドレスとサブネットマスクを変更します。
- 設定を保存します。
- コンピュータを元の設定に戻します。

これらのタスクを実行するには、『Cisco Small Business マネージドスイッチアドミニストレーションガイド』の手順に従います。

接続に関するトラブルシューティング

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスできない場合、スイッチはコンピュータから接続不能な状態になっている可能性があります。Windows コンピュータの場合、**ping** を使用してネットワーク接続をテストすることができます。

ステップ 1 [スタート]>[ファイル名を指定して実行]を選択し、**cmd** と入力して、コマンドウィンドウを開きます。

ステップ 2 コマンドウィンドウプロンプトで **ping** と入力し、マネージドスイッチの IP アドレスを入力します。たとえば、**ping 192.168.1.254** (マネージドスイッチのデフォルトのスタティック IP アドレス) のように指定します。

スイッチに接続可能な場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.254: bytes=32 time<1ms TTL=128
```

スイッチに接続できない場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

考えられる原因と解決策

電源が投入されていない：

スイッチとコンピュータがオフになっている場合は電源を投入してください。

イーサネットの接続不良：

LED の表示が正常であるかどうかを確認してください。イーサネットケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。

コンソール ポートの接続不良：

コンソール ケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。コンソール ポート ユーティリティが正しいパラメータで設定されていることを確認してください。

不正な IP アドレス：

スイッチで正しい IP アドレスが使用されていることを確認してください。電源 LED により、スイッチの現在の IP アドレスをどこで受信しているかを判断できます。スイッチの現在の IP アドレスは、コンソール ポート インターフェイスを使用してメニュー CLI で決定するか、ネットワーク管理者が決定できます。

別のデバイスがスイッチと同じ IP アドレスを使用していないことを確認してください。

IP ルートがない：

スイッチとコンピュータが異なる IP サブネットに存在する場合、2 つのサブネット間でパケットをルーティングするために、複数のルータが必要になります。

アクセス時間が異常に長い：

標準的なスパニング ツリーのループ検出ロジックにより、新しい接続を追加すると、その影響を受けるインターフェイスや LAN が動作可能な状態になるまで 30 ～ 60 秒かかる場合があります。

4 Cisco Small Business マネージド スイッチの機能

ここでは、ポート、LED、接続を含むマネージド スイッチの外観について説明します。

前面パネル ポート

ポートおよび LED は、スイッチの前面パネルに配置されています。



RJ-45 イーサネット ポート：これらのポートを使用して、コンピュータ、プリンタ、アクセス ポイントなどのネットワーク デバイスをスイッチに接続します。

miniGBIC (存在する場合) : miniGBIC (ギガビット インターフェイス コンバータ) ポートは、miniGBIC モジュールの接続ポイントです。光ファイバを接続してマネージド スイッチを他のスイッチへアップリンクすることができます。

- シスコ製 **Small Business** 製品専用モジュール (MGBSX1、MGBLX1) をご使用ください。またこのモジュールは、**Small Business** 製品以外の他のシスコ製品では使用できませんので、ご注意ください。
- miniGBIC インターフェイスはコンビネーション ポートとなっており、もう 1 つの RJ-45 インターフェイスと共有されています。miniGBIC がアクティブな場合、隣接した RJ-45 ポートはディセーブル (無効) になります。
- 対応する RJ-45 ポートの LED は、miniGBIC インターフェイスのトラフィックに応答すると点灯します。

前面パネル LED

[System] LED : (グリーン) スイッチの電源がオンになると LED が点灯し、ブートやセルフテストの実行中、または IP アドレスを取得している間は点滅します。LED がオレンジ色に点滅した場合、スイッチがハードウェア障害を検出したことを示します。

[LINK/ACT] LED : (グリーン) ポートの左側に配置されています。対応するポートと別のデバイスとのリンクが検出されると点灯します。ポートでトラフィックの転送を行っているときは、LED が点滅します。

(注) [System] および [LINK/ACT] の LED はスイッチの各モデルに搭載されています。次の LED は、該当する機能を備えたスイッチ モデルにだけ搭載されています。

[PoE] (存在する場合) : (オレンジ) ポートの右側に配置されています。点灯している場合、対応するポートに接続されたデバイスに電力が供給されていることを示します。

[100M] LED (存在する場合) : (グリーン) ポートの右側に配置されています。別のデバイスがポートに接続されて電源がオンになり、100 Mbps のリンク速度でデバイス間の接続が確立すると点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が 100 Mbps を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

[Gigabit] LED (存在する場合) : (グリーン) ポートの右側に配置されています。別のデバイスがポートに接続されて電源がオンになり、1000 Mbps のリンク速度でデバイス間の接続が確立すると点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が 1000 Mbps を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

[MiniGBIC] (存在する場合) : (グリーン) ポートの右側に配置されています。共有 RJ-45 ポート経由で接続が確立すると点灯します。ポートでトラフィックの転送を行っているときは、LED が点滅します。

前面パネルの追加機能

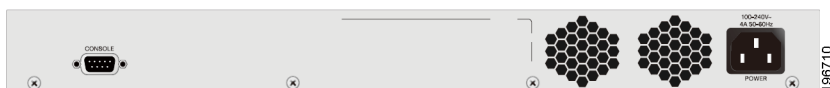
スイッチには、[Reset] ボタンも付いています。



[Reset] の開口部へピンまたはペーパー クリップを挿入することで、スイッチをリセットできます。詳細については、「[デバイスの工場出荷時設定への復元](#)」を参照してください。

背面パネル

電源ポートおよびコンソール ポートは、マネージド スイッチの背面に配置されています。



[POWER] : この電源ポートにスイッチを接続し、電力を供給します。

[CONSOLE] : 端末エミュレーション プログラムを使用して設定を行うには、このコンソール ポートにシリアル ケーブルを挿入してコンピュータのシリアル ポートに接続します。

5

デバイスの工場出荷時設定への復元

[Reset] ボタンを使用してマネージド スイッチをリブートまたはリセットするには、次の手順に従います。

- マネージド スイッチをリブートするには、[Reset] ボタンを 10 秒未満押し続けます。
- マネージド スイッチの設定を工場出荷時設定に**復元**するには、次の手順に従います。
 1. ネットワークからマネージド スイッチを切断するか、ネットワーク上のすべての DHCP サーバを無効にします。
 2. 電源を投入して、[Reset] ボタンを 10 秒以上押し続けます。

6

関連情報

Cisco Small Business シリーズの製品、マニュアル、サポート等に関する詳細については、www.cisco.com/jp/go/sb を参照してください。また、サポートに関する詳細については、www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/support を参照してください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因になります。また、電気用品安全法により、当該法の認定（PSEとコードに表記）ではなくUL認定（ULまたはCSAマークがコードに表記）の電源ケーブルは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

Cisco Small Business 製品に関する制限付き特別ライフタイム保証規定

ハードウェアの保証に適用される規定は以下の通りです。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、以下およびシスコ製品に付属の『シスコ情報パッケージ』に記載されています。

ハードウェア保証期間:シスコ製ハードウェアは購入したエンドユーザが製品を所有または使用している限り保証されます。製品の製造が中止された場合は、シスコでは製造中止の通知から 5 年間保証します。

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順:シスコまたはその代理店では、準備可能な場合、翌営業日の配達に間に合うように交換部品を出荷するよう商業上合理的な努力を致します。それ以外の場合は、欠陥製品を受領してからただちに交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。交換部品は送料前払いの陸上輸送で出荷されます。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA; 返品許可) 番号の入手:製品の購入先の当事者にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次のフォームに記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先:	
購入先の電話番号:	
製品のモデル番号とシリアル番号:	
メンテナンス契約番号:	

各種製品保証規定や、シスコ製品に関するその他の情報は、以下の URL に掲載されています。

www.cisco.com/jp/go/sb

シスコ製品および適用される保証に関する完全なリストについては、上記の Web サイトを参照するか、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

本ドキュメントは、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については、上記の Web サイトを参照してください。



Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標です。Cisco の商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認いただけます。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1005R)

© 2010 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

78-19435-02